

# 奈良県立高等学校入学者特色選抜検証改善委員会の報告の概要

委員会開催日：平成22年6月22日、10月6日、11月25日

## 特色選抜の趣旨

「県立高校再編計画」に沿って推進している県立高校の「特色化」「魅力化」「活性化」に対応し、生徒が自らの適性等に基づいて主体的に高校を選択できるよう、選抜方法や選抜資料の多様化及び選抜尺度の多元化を図り、各高校が特色ある選抜を行う。

## 特色選抜の現状

学力検査を実施しない学校、学科・コースが**減少**

平成18年度入試： **11校14学科・コース** ➡ 平成23年度入試： **3校4学科**

※ 学力検査の自校作問校が**減少**

平成18年度入試： **13校** ➡ 平成23年度入試： **3校**

普通科における**多数の不合格者数**

平成18年度最高倍率：16.02倍	(普通科 不合格者 <b>3,044</b> / 募集人員 1,040)
	(普通科以外 不合格者 664 / 募集人員 2,358)
平成22年度最高倍率：9.18倍	(普通科 不合格者 <b>2,349</b> / 募集人員 1,441)
	(普通科以外 不合格者 633 / 募集人員 2,376)

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 専門学科等への目的意識の高い生徒の入学</li><li>○ 各高校の教育活動を様々な形で発信</li><li>○ 各高校の特色化・魅力化の推進</li><li>○ 高校教員による中高の教育の効果的な接続</li><li>○ 中学生の進路に関する意識の向上</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 普通科における高い競争倍率<ul style="list-style-type: none"><li>・ 多くの普通科において特色選抜と一般選抜の入学者に教育課程上の違いがない。</li><li>・ 普通科の多くの不合格者が一般選抜で同じ学校に合格している。</li></ul></li><li>○ 学校間の選抜方法の差異<ul style="list-style-type: none"><li>・ 普通科等の学校間で選抜方法に差異があり、複雑な制度となっている。</li><li>なお、一定の成果を上げたスポーツ選考は、公平さの観点から、普通科の検討に併せて見直す。</li></ul></li></ul>

## 特色選抜の改善の方向性等

### 実施学科・コースの検討

- 専門学科、総合学科及び3年間の教育課程に特色のあるコース等で実施することが望ましい。

### 選抜方法の工夫

- 中学生が基礎学力を身に付けるとともに、主体的に高等学校を選択できるよう、検査方法を工夫する。

### 特色選抜の成果の推進

- 高等学校の教育活動の情報発信を一層推進するとともに、中学校の進路指導の更なる充実を図る。

※ 「奈良県立高等学校入学者特色選抜の検証改善について(報告)」は、こちらからご覧になれます。